

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成26年11月28日（金）

■福祉サービス事業者情報

名 称	華の浦学園	種 別	福祉型障害児入所施設
代表者氏名	施設長 松田啓示	開設年月日	昭和47年6月1日
設 置 者	社会福祉法人 山口県社会福祉事業団	定員(利用人数)	50人(42人)
所 在 地	防府市浜方205-1		
電 話 番 号	0835-22-3280	FAX番号	0835-22-3279
ホームページアドレス	http://jigyodan-yg.jp/hananoura/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- 4回目の第三者評価の受審であり質改善への弛まぬ努力が確認できました。年1回、施設が自ら施設サービス自己評価実施要項に基づく自己評価を行うとともに、3年ごとに第三者評価を受審され、サービスの質を高めるべく、業務改善が推進されていることは高く評価できます。
- 基本理念「その人らしさを大切に」を具現化すべく、具体的数値目標のある中期経営計画(ビジョン)が策定され、それに基づく年度ごとの事業計画(ミッション)が策定され、それに基づく利用児者支援(アクション)が丁寧に行われており、PDCAサイクルが回っていることは高く評価できます。
- 徹底した情報の見える化と共有化が行われており、職員の内部コミュニケーションも良好であるなど、働きやすい職場環境づくりの模範事例であると高く評価できます。

◇改善を求められる点

- 築42年を迎える施設は一部時代のニーズに応えきれない箇所が散見できます。最優先課題とされる改築について計画が進められることを期待します。
- 利用児者の希望に沿って行われるレクリエーションや外出、発達段階に応じた療育プログラムなど、可能な限り対応・提供がされていますが、現状満足にとどまることなく、その質・量をさらに高める取り組みを創意工夫と高い組織力を活かして推進されること期待します。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

本学園は、平成29年度末の完成をめざし、現在移転新築プロジェクトを推進しているところです。このたびの評価におけるハード面の課題につきましては、しっかりプロジェクトに反映させ、利用児(者)にとって、我が家感あふれる暮らしやすい環境を創造していきたいと考えています。

また、今回全体的に良好な評価をいただきました。今回の評価結果に満足することなく、県下に数少ない福祉型障害児入所施設として、利用児(者)の個々のライフステージに応じ、療育プログラムの一層の充実に取り組んでいきます。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	12	b	0	c	0	Na	0
<p>●施設長のリーダーシップのもと、「その人らしさを大切に」の基本理念と3つの基本方針がすべての職員に浸透し、利用児者へのサービスにつながっています。理念や基本方針について、利用児者に理解してもらえるようポスターを作成するなどの取組は評価できます。●事業計画は中期経営計画に基づいて策定されており、計画の策定にあたってすべての職員が関わることは「わがこと化」につながっていると評価できます。●「利用者支援の方針表明書」や遵守すべき法令を理解するための「社会福祉士国試ナビ」などを職員一人ひとりに配布していることは評価できます。●常勤職員と非常勤職員の理念の浸透度や事業計画の理解度、利用児者へのサービス提供能力などを踏まえ、さらなる均質化を推進する仕組みづくりを期待します。</p>								

II 組織の運営管理	a	21	b	0	c	1	Na	0
<p>●人事考課をすべての職員に拡大されたことは評価できます。●法人の経営する多種多様な施設を活用し、人材育成を目的とした異動や自己申告書による希望施設への異動の仕組みは福祉人材確保に有効な手段と評価できます。●職員教育・研修について、階層別研修の実施や新任チューター制度による新人職員育成がシステム化されるとともに、外部研修受講後の復命からカリキュラムへの取り込みの仕組みは評価できます。●地域の福祉ニーズを把握し、地域貢献プラスワン事業を実施されている事は評価できます。さらなる質的・量的拡大を期待します。●大規模法人として監査法人による外部監査の実施をご検討ください。●現在策定中の事業継続計画の完成を期待します。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	22	b	0	c	0	Na	0
<p>●利用児者が自由に意見を表明する権利を尊重する「華会」やその実現の場となる「夢プラン外出」の取り組みは評価できます。さらなる質的・量的拡大を期待します。●サービスの質向上に高い意欲を持ち、施設サービス自己評価、第三者評価を活用し、また実習生、ボランティア、地域住民などの意見を積極的に受け入れて業務改善を推進する取り組みは評価できます。●サービス内容などを映像編集し、見える化が推進されていることは高く評価できます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	29	b	2	c	0	Na	0
<p>●意思疎通が困難な利用児者とのコミュニケーションについて、心理士や言語聴覚士などの専門家の配置やタブレット端末を活用した取り組みは評価できます。●ADL支援マニュアルが整備され、利用児者の個々の障害特性に配慮したきめ細やかな対応が利用児者の笑顔や落ち着きにつながっていることは高く評価できます。●トイレ環境についてプライバシーの確保や快適性を高めていただくことを期待します。</p>								